

報 告 書

件 名 : 材 料 試 験

R C - 4 0

令 和 8 年 2 月

株 式 会 社 石 碑 江



材 料 試 験

RC-40

試 験 報 告 書

令和 8年 2月

有限会社 コーワプランニング



§ 1 . ま え が き

本報告書は、京都府福知山市大江町天田内地内に所在する“株式会社 大江碎石”において製造されるRC-40（再生クラッシュラン）の試験結果を報告するものである。

§ 2 . 試 験 概 要

工 事 名 称 :

工 事 場 所 :

試 験 期 間 : 令和 8年 1月15日～令和 8年 2月 6日

生 産 地 : 京都府福知山市大江町天田内地内

生 産 会 社 : 株 式 会 社 大 江 碎 石
TEL 0773-56-0086

生 産 材 料 : RC - 4 0 (再生クラッシュラン)

試 験 会 社 : 有 限 会 社 コーワプランニング
TEL 0773-40-1805
田中 邦明



§ 3 . 試 験 方 法

日本産業規格（JIS）、舗装調査・試験法便覧等の試験方法に準ずる。

§ 4 . 試験項目

再生路盤材における必要試験及び規格値を下記に示す。

必要試験（RC，RM）

材料の承諾項目	試 験
① 使用材料の種類	再 生 材
② 粒度	フルイ分け試験
③ 修正CBR	修正CBR試験
④ 最大乾燥密度	突固め試験
⑤ PI	液性・塑性限界試験
⑥ すり減り減量 (※セメントコンクリート再生骨材)	ロサンゼルス試験

※ () 内の材料のみ試験を行う。

規 格 値

項 目	規 格 値	
	RC	RM
修正CBR	20%以上(30%以上)	80%以上(90%以上)
PI	6以下	4以下
備 考	ASコンクリート再生骨材を含む場合、ASコンクリート再生骨材を含む場合、但し40℃でCBR試験を行った場合は80以上とする。 ()内はASコンクリート再生骨材を含む場合、但し40℃でCBR試験を行った場合は80以上とする。	

参考文献

社団法人 日本道路協会

「舗装再生便覧」(平成22年版)

平成22年11月30日 22年版

試 験 結 果 一 覧 表

試 験 項 目	試 験 結 果		規 格 値
材 料 名	再生クラッシュラン R C - 4 0		_____
フルイ分け試験 (JIS A 1102)	別 紙 参 照		粒径加積曲線図に示す
単*位容積質量試験 (JIS A 1104)	1.53 kg / ℓ 実 積 率 : 65.2 %		_____
密 度 試 験 (JIS A 1110)	表乾密度	2.49 g / cm ³	_____
	見掛密度	2.73 g / cm ³	
	絶乾密度	2.35 g / cm ³	
吸 水 率 試 験 (JIS A 1110)	6.05 %		_____
スリヘリ試験 (JIS A 1121)	26.3 %		再生骨材 50%以下
液性 } 限界試験 塑性 } (JIS A 1205)	液性限界	N P	簡易舗装9以下 アスファルト舗装6以下 (塑性指数)
	塑性限界	N P	
	塑性指数	N P	
突固めによる 締固め試験 (JIS A 1210)	最大乾燥密度	1.900 g / cm ³	_____
	最適含水比	11.3 %	
修正 C B R 試験 (JIS A 1211)	17 回	37.8	20以上 (30以上) ※20%以上30%未満 (30%以上40%未満) (等値換算係数0.20) 30%以上(40%以上) (等値換算係数0.25)
	42 回	100.2	
	92 回	180.3	

[注] アスファルトコンクリート再生骨材を含む路盤材料で、
温度の影響に対する措置が必要な箇所には、修正 C B R の
基準値に () 内の数値を適用する。

産 地 : 京都府福知山市大江町天田内地内

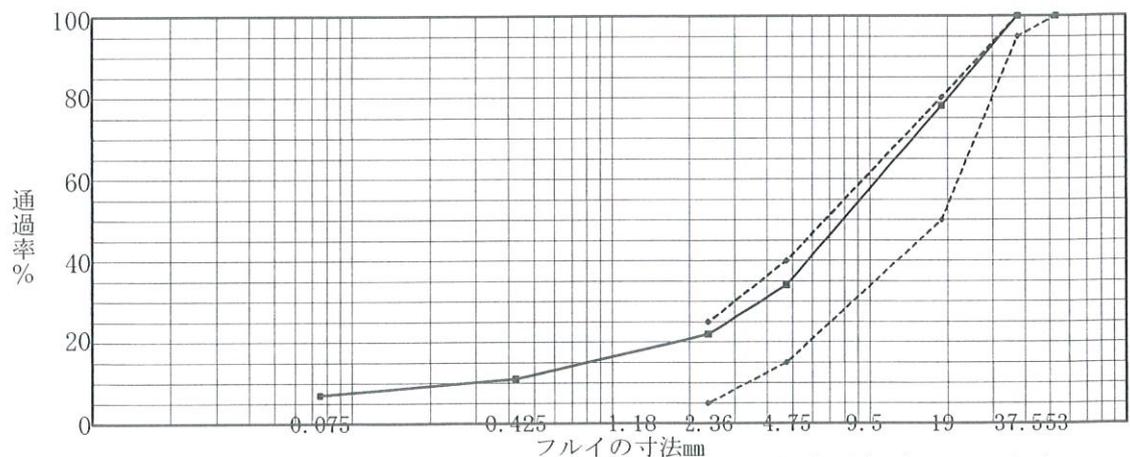
株 式 会 社 大 江 砕 石

骨材試験結果報告書

依頼業者名 : 株式会社 大江碎石			
材 料 : RC-40			
採取場所 : 京都府福知山市大江町天田内地内			
産 地 : 同上			
試験期間 : 令和8年1月15日 ~ 令和8年2月6日			
試 験 項 目	試 験 方 法	試 験 結 果	
ふるい分け	粗粒率	JIS A 1102	-
単位容積質量	kg/l	JIS A 1104	1.53
	実積率 %		65.2
密 度	表乾 g/cm^3	JIS A 1110	2.49
	見掛け g/cm^3		2.73
	絶乾 g/cm^3		2.35
吸水率	%	JIS A 1110	6.05
すりへり減量	%	JIS A 1121	26.3
コンシステンシー	液性限界 %	JIS A 1205	NP
	塑性限界 %		NP
	塑性指数		NP
突き固め	最大乾燥密度 g/cm^3	JIS A 1210	1.900
	最適含水比 %		11.3
修正 CBR 試験	突き固め回数 (%)	17回	37.8
		42回	100.2
		92回	180.3
	ρ_{dmax} 95%に対する CBR 値 %	99.6	

ふるい分け

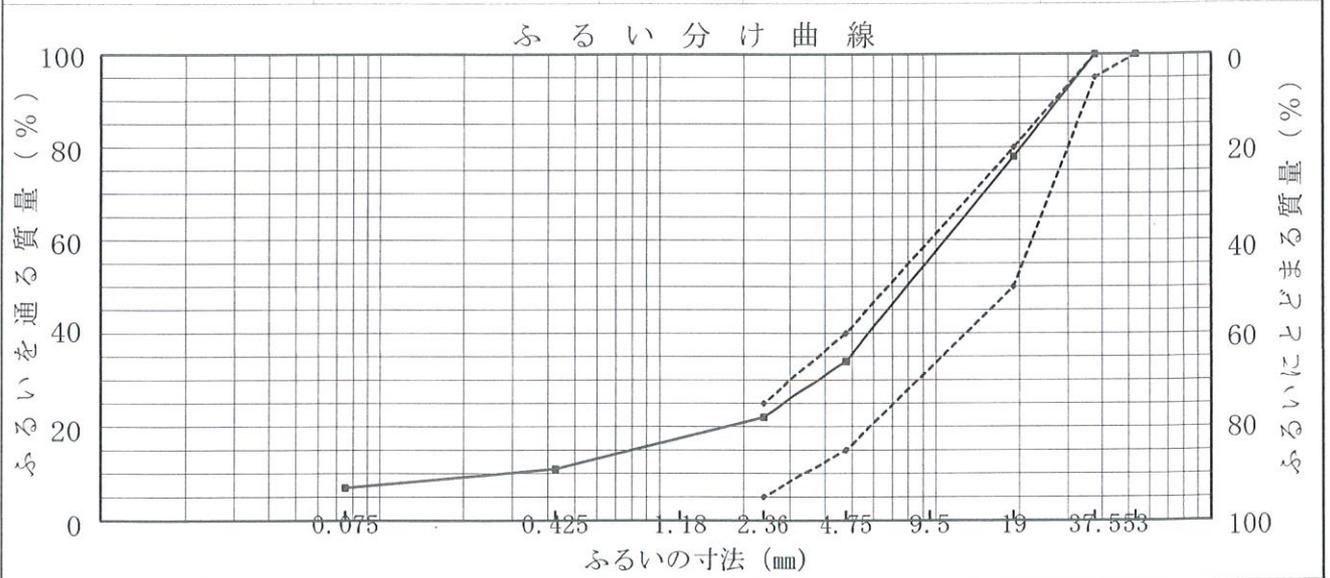
ふるいの寸法	53	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	0.425	0.075
通過量(%)	100	100	100	94	78	65	55	34	22	16	11	7



京都府綾部市湊垣町郷久9-2
 有限会社 コーワプランニング
 TEL : 0773 (40) 1805
 FAX : 0773 (40) 1804

実験名	骨材のふるい分け試験				JIS A 1102
試験日	令和8年1月20日		火曜日	天候	雨のち雪
試験日の状態	室温 (°C)		湿度 (%)		
	18		55		
試料	RC-40				

公称目開き	呼び寸法	各ふるいにとどまる量の累計		各ふるいにとどまる量		ふるいを通る量 (%)	C-40の粒径範囲
		(g)	(%)	(g)	(%)		
53	50	0.0	0	0.0	0	100	100
37.5	40	0.0	0	0.0	0	100	95 ~ 100
31.5	30	24.7	0	24.7	0	100	
26.5	25	462.9	6	438.2	6	94	
19	20	1,725.9	22	1,263.0	16	78	50 ~ 80
13.2	13	2,734.9	35	1,009.0	13	65	
9.5	10	3,549.8	45	814.9	10	55	
4.75	5	5,126.1	66	1,576.3	21	34	15 ~ 40
2.36	2.5	6,097.2	78	971.1	12	22	5 ~ 25
1.18	1.2	6,566.9	84	469.7	6	16	
0.425	0.4	6,962.8	89	395.9	5	11	
0.075	0.075	7,291.2	93	328.4	4	7	
全質量		7,857.0					
最大寸法 (mm)		31.5		粗粒率		-	



考 察

実験者	所 属	有限会社 コーワプランニング
	氏 名	田中 邦明 

調査件名

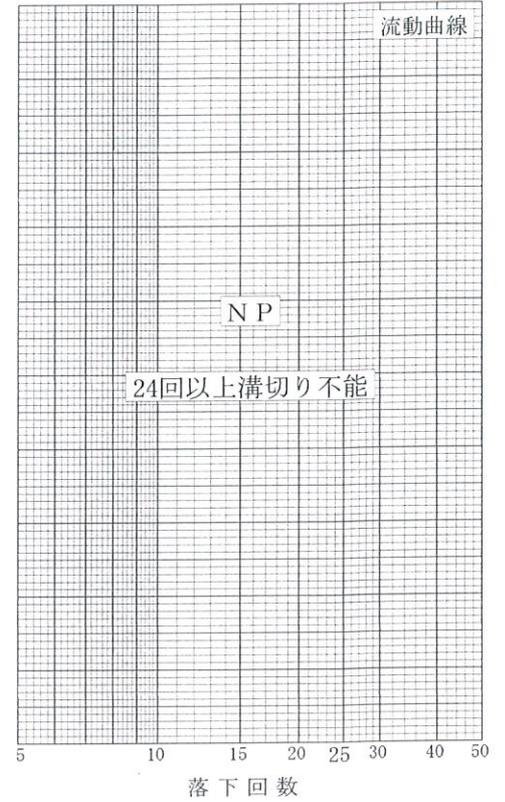
試験年月日 令和 8年 1月 30日

試験者 田中 邦明



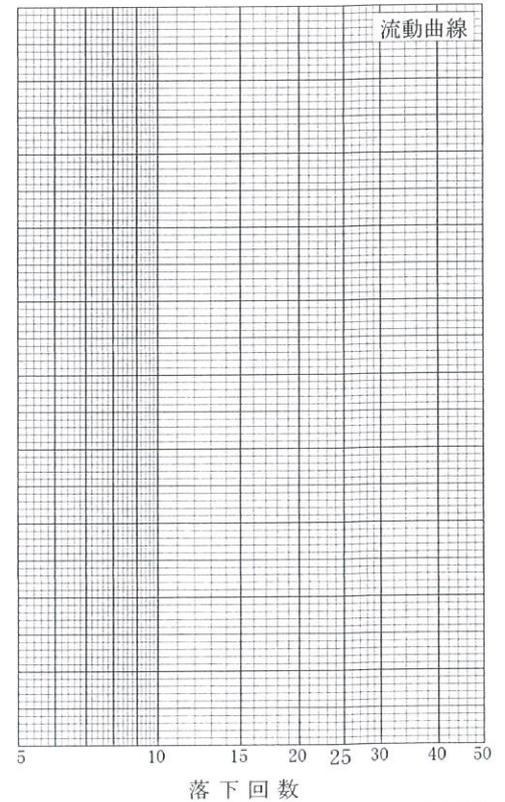
試料番号（深さ）		RC-40	
液性限界試験			
落下回数		11	23
含	容器 No.	34	9
水	m_a g	29.19	33.79
比	m_b g	23.45	27.10
	m_c g	6.23	6.46
	w %	33.33	32.41
落下回数			
含	容器 No.		
水	m_a g		
比	m_b g		
	m_c g		
	w %		
塑性限界試験		ヒモ状にならず試験不能	
含	容器 No.		
水	m_a g		
比	m_b g		
	m_c g		
	w %		
液性限界 w_L %		塑性限界 w_p %	
NP		NP	
		塑性指数 I_p	
		NP	

(%)
w
比
水
合



試料番号（深さ）			
液性限界試験			
落下回数			
含	容器 No.		
水	m_a g		
比	m_b g		
	m_c g		
	w %		
落下回数			
含	容器 No.		
水	m_a g		
比	m_b g		
	m_c g		
	w %		
塑性限界試験			
含	容器 No.		
水	m_a g		
比	m_b g		
	m_c g		
	w %		
液性限界 w_L %		塑性限界 w_p %	
		塑性指数 I_p	

(%)
w
比
水
合



特記事項

JIS A 1210 JGS 0711	突固めによる土の締固め試験（測定）
------------------------	-------------------

調査件名

試験年月日 令和 8年 1月 27日

試料番号（深さ）RC-40

試験者 田中 邦明



試験方法		E-b	土質名称	再生クラッシュラン			
試料の準備方法		乾燥法, 湿潤法	ランマー質量 kg	4.5	モ ー ル ド	内径 cm	15
試料の使用方法		繰返し法 , 非繰返し法	落下高さ cm	45		高さ ¹⁾ cm	12.50
含水比	試料分取後 w_0 %	-	突固め回数 回/層	92		容量 V cm ³	2209
	乾燥処理後 w_1 %	2.5	突固め層数 層	3		質量 m_i ²⁾ g	4856
測定 No.		1	2	3	4		
(試料+モールド) 質量 m_2 ²⁾ g		8910	9092	9339	9512		
湿潤密度 ρ_t g/cm ³		1.835	1.918	2.029	2.108		
平均含水比 w %		4.4	6.8	9.0	11.0		
乾燥密度 ρ_d g/cm ³		1.758	1.796	1.861	1.899		
含 水 比	容器 No.	21	41	61	27		
	m_a g	1333.9	1385.3	1390.9	1388.0		
	m_b g	1284.8	1305.6	1288.8	1269.5		
	m_c g	175.4	174.2	168.6	173.1		
	w %	4.4	7.0	9.1	10.8		
容 器 No.	容器 No.	65	25	63	36		
	m_a g	1396.9	1364.5	1404.5	1407.4		
	m_b g	1346.1	1290.8	1304.8	1283.6		
	m_c g	168.8	173.8	169.3	175.5		
	w %	4.3	6.6	8.8	11.2		
測定 No.		5	6	7	8		
(試料+モールド) 質量 m_2 ²⁾ g		9552	9523				
湿潤密度 ρ_t g/cm ³		2.126	2.113				
平均含水比 w %		13.2	15.7				
乾燥密度 ρ_d g/cm ³		1.878	1.826				
含 水 比	容器 No.	20	87				
	m_a g	1454.8	1406.8				
	m_b g	1308.4	1240.8				
	m_c g	175.9	167.9				
	w %	12.9	15.5				
容 器 No.	容器 No.	81	4				
	m_a g	1536.4	1445.7				
	m_b g	1375.4	1272.5				
	m_c g	174.9	176.5				
	w %	13.4	15.8				

特記事項

$$\rho_d = \frac{\rho_t}{1 + w/100}$$

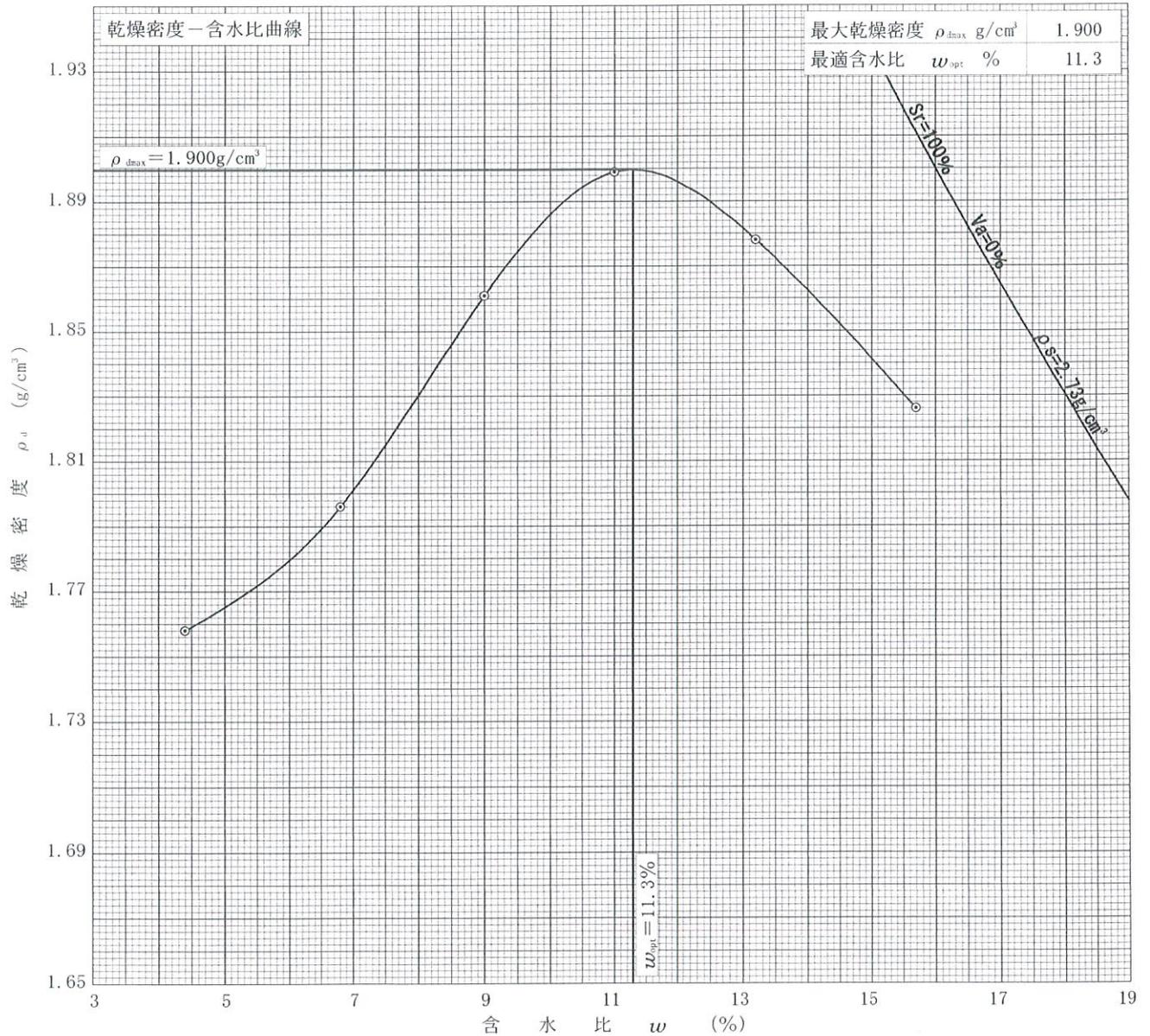
調査件名

試験年月日 令和 8年 1月 27日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明

試験方法	E-b		土質名称	再生クラッシュラン				
試料の準備方法	乾燥法, 湿潤法		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.73		
試料の使用方法	繰返し法 , 非繰返し法		落下高さ cm	45	試料調製前の最大粒径 mm		37.5	
含水比	試料分取後 w_0 %	-		突固め回数 回/層	92	モールド	内径 cm	15
	乾燥処理後 w_1 %	2.5		突固め層数 層	3		高さ ¹⁾ cm	12.50
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 w %	4.4	6.8	9.0	11.0	13.2	15.7		
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.758	1.796	1.861	1.899	1.878	1.826		



特記事項

1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{sat} = \frac{\rho_w}{\rho_w/\rho_s + w/100}$$

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名

試験年月日 令和 8年 1月 30日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュラン			
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	自然含水比 w_n %	-			
試料準備	準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	17	最適含水比 w_{opt} %	11.3		
	空気乾燥前含水比 %	-	突固め層数	層	3	最大乾燥密度 ρ_{max} g/cm ³	1.900		
	試料調製後含水比 w_s %	11.3	モールド	内径	cm	15	荷重板質量	kg	5.0
				高さ	cm	12.5	モールド容量 V	cm ³	2209
供試体 No.		1		2		3			
含水比	容器 No.	8	7	8	7	8	7		
	m_s g	1408.6	1335.6	1408.6	1335.6	1408.6	1335.6		
	m_b g	1285.2	1215.7	1285.2	1215.7	1285.2	1215.7		
	m_c g	174.2	173.7	174.2	173.7	174.2	173.7		
	w_i %	11.1	11.5	11.1	11.5	11.1	11.5		
平均値 w_i %		11.3		11.3		11.3			
密度	(試料+モールド)質量 m_2 g	9043		9025		8683			
	モールド質量 m_1 g	4853		4855		4547			
	湿潤密度 ρ_s g/cm ³	1.897		1.888		1.872			
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.704		1.696		1.682			
吸水膨張試験	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	
	0		0	0.000	0	0.000	0	0.000	
	1								
	2								
	4								
	8								
	24								
	48								
	72								
	96		0	0.000	0	0.000	0	0.000	
試験	(試料+モールド)質量 m_3 g	9124		9111		8772			
	膨張比 r_s %	0.000		0.000		0.000			
	湿潤密度 ρ'_s g/cm ³	1.933		1.927		1.913			
	乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.704		1.696		1.682			
	平均含水比 w' %	13.4		13.6		13.7			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
 - 2) モールドの質量は有孔底板を含む。
- $$r_s = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$
- $$\rho'_s = \frac{m_3 - m_1}{V(1 + r_s/100)}$$
- $$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_s/100}$$
- $$w' = \left(\frac{\rho'_s}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名

試験年月日 令和 8年 2月 3日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明

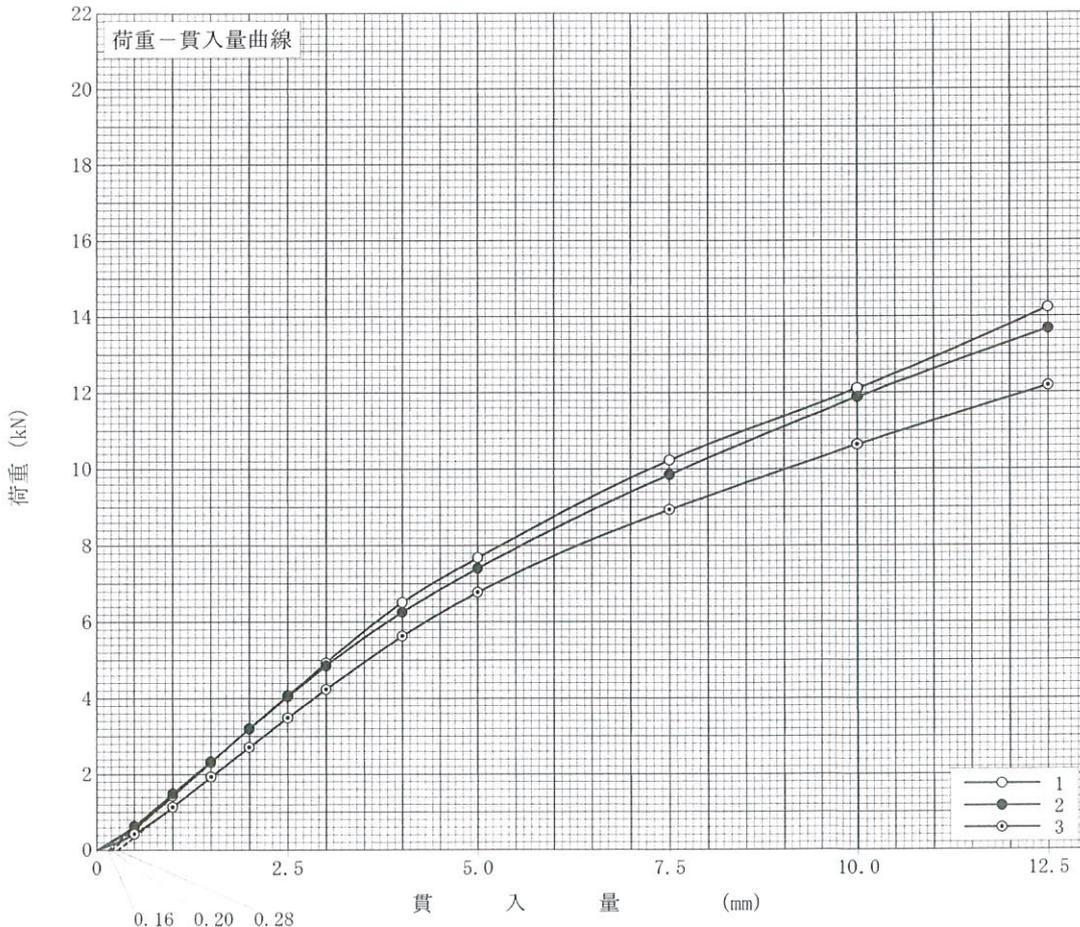


試験方法	締固めた土、 乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュヤラン
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	-
試料の準備方法	非乾燥法 , 空気乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 w_n %	-
試験条件	水浸, 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 w_{opt} %	11.3
養生条件	- 日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³
	4 日水浸		高さ ¹⁾	cm	12.5	

供試体 No.		1	2	3
吸水膨張試験	前			
	含水比 w_1 %	11.3	11.3	11.3
	乾燥密度 ρ_s g/cm ³	1.704	1.696	1.682
	膨張比 r_e %	0.000	0.000	0.000
	後			
平均含水比 w' %	13.4	13.6	13.7	
乾燥密度 ρ'_s g/cm ³	1.704	1.696	1.682	
貫入試験	試験後の含水比 w_2 %	12.3	12.4	12.6
	貫入量2.5mmにおけるCBR%	33.0	32.2	29.2
	貫入量5.0mmにおけるCBR%	39.7	38.1	35.5
	C B R %	39.7	38.1	35.5

平均 C B R %	37.8
------------	------

特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No.1	4.416	7.894
供試体 No.2	4.310	7.574
供試体 No.3	3.911	7.061
標準荷重強さ MN/m ²	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名

試験年月日 令和 8年 1月 30日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土、乱れなし	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュラン			
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	自然含水比 w_n %	-			
試料準備	準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数	回/層	42	最適含水比 w_{opt} %	11.3		
	空気乾燥前含水比 %	-	突固め層数	層	3	最大乾燥密度 ρ_{max} g/cm ³	1.900		
	試料調製後含水比 w_s %	11.3	モールド	内径	cm	15	荷重板質量	kg	5.0
				高さ	cm	12.5	モールド容量 V	cm ³	2209
供試体 No.		1		2		3			
含水比	容器 No.	8	7	8	7	8	7		
	m_a g	1408.6	1335.6	1408.6	1335.6	1408.6	1335.6		
	m_b g	1285.2	1215.7	1285.2	1215.7	1285.2	1215.7		
	m_c g	174.2	173.7	174.2	173.7	174.2	173.7		
	w_i %	11.1	11.5	11.1	11.5	11.1	11.5		
平均値 w_i %		11.3		11.3		11.3			
密度	(試料+モールド)質量 m_2 g	9290		9206		9310			
	モールド質量 m_1 g	4851		4783		4855			
	湿潤密度 ρ_w g/cm ³	2.010		2.002		2.017			
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.806		1.799		1.812			
吸水膨張試験	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	
	0		0	0.000	0	0.000	0	0.000	
	1								
	2								
	4								
	8								
	24								
	48								
	72								
	96		1	0.010	0	0.000	1	0.010	
試験	(試料+モールド)質量 m_3 g	9338		9259		9359			
	膨張比 r_s %	0.008		0.000		0.008			
	湿潤密度 ρ'_w g/cm ³	2.031		2.026		2.039			
	乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.806		1.799		1.812			
	平均含水比 w' %	12.5		12.6		12.5			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
 - 2) モールドの質量は有孔底板を含む。
- $$r_s = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$
- $$\rho'_w = \frac{m_3 - m_1}{V(1 + r_s/100)}$$
- $$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_s/100}$$
- $$w' = \left(\frac{\rho'_w}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名

試験年月日 令和 8年 2月 3日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明

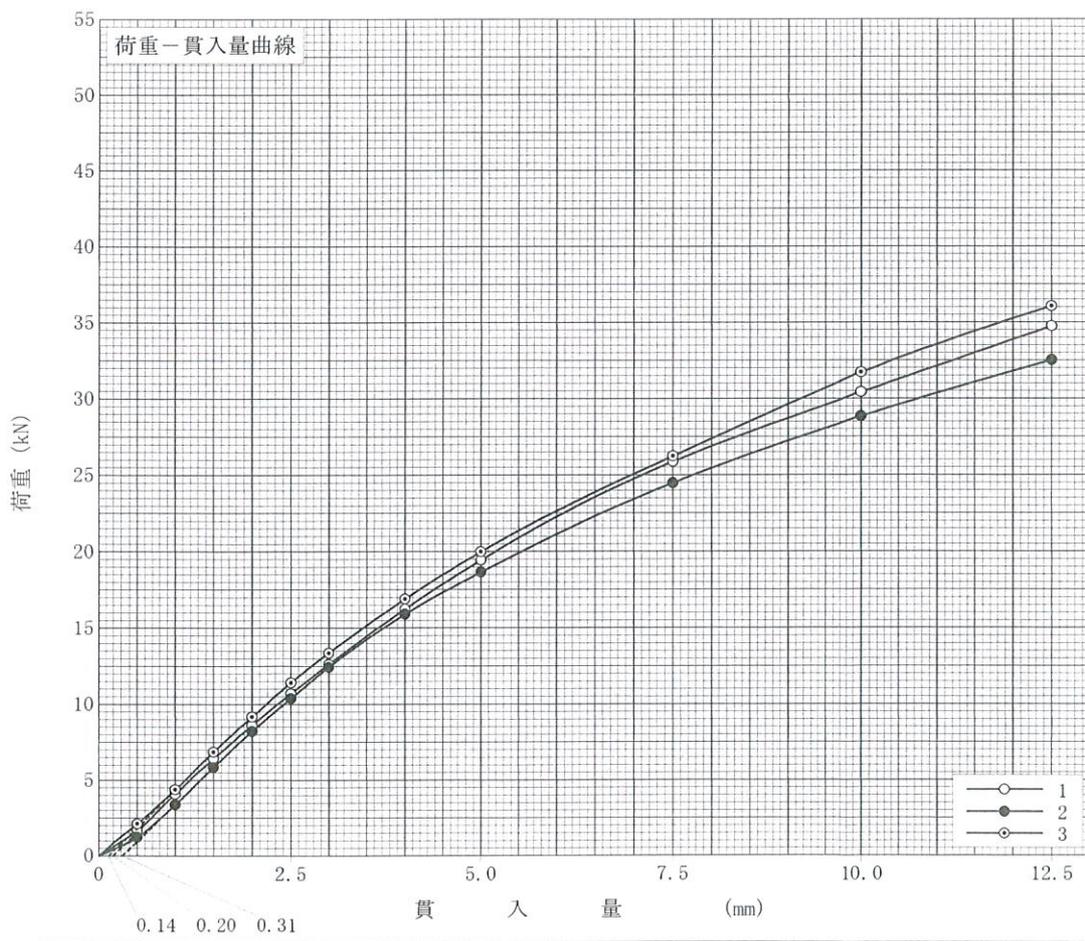


試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュヤラン
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	-
試料の準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数	回/層	42	自然含水比 w_n %	-
試験条件	水浸、非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 w_{opt} %	11.3
養生条件	- 日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³
	4 日水浸		高さ ¹⁾	cm	12.5	

供試体 No.		1	2	3	
吸水膨張試験	前	含水比 w_1 %	11.3	11.3	11.3
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.806	1.799	1.812
	後	膨張比 r_e %	0.008	0.000	0.008
		平均含水比 w' %	12.5	12.6	12.5
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.806	1.799	1.812
貫入試験	試験後の含水比 w_2 %	11.9	11.9	11.8	
	貫入量2.5mmにおけるCBR%	85.7	87.1	89.5	
	貫入量5.0mmにおけるCBR%	100.6	97.6	102.4	
	CBR %	100.6	97.6	102.4	

平均 C B R %	100.2
------------	-------

特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No.1	11.481	20.027
供試体 No.2	11.665	19.430
供試体 No.3	11.990	20.377
標準荷重強さ MN/m ²	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名

試験年月日 令和 8年 1月 30日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	再生クラッシュヤラン			
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 w_n %	-			
試料準備	準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数 回/層	92	最適含水比 w_{opt} %	11.3		
	空気乾燥前含水比 %	-	突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{max} g/cm ³	1.900		
	試料調製後含水比 w_s %	11.3	モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0	
				高さ cm	12.5	モールド容量 V cm ³	2209	
供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	8	7	8	7	8	7	
	m_s g	1408.6	1335.6	1408.6	1335.6	1408.6	1335.6	
	m_w g	1285.2	1215.7	1285.2	1215.7	1285.2	1215.7	
	m g	174.2	173.7	174.2	173.7	174.2	173.7	
	w_i %	11.1	11.5	11.1	11.5	11.1	11.5	
平均値 w_i %		11.3		11.3		11.3		
密度	(試料+モールド) 質量 m_2 g	9539		9553		9420		
	モールド質量 m_1 g	4856		4887		4779		
	湿潤密度 ρ_i g/cm ³	2.120		2.112		2.101		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.905		1.898		1.888		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.000	0	0.000	0	0.000
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		1	0.010	1	0.010	0	0.000
試験	(試料+モールド) 質量 m_3 g	9570		9585		9455		
	膨張比 r_s %	0.008		0.008		0.000		
	湿潤密度 ρ'_i g/cm ³	2.134		2.127		2.117		
	乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.905		1.898		1.888		
	平均含水比 w' %	12.0		12.1		12.1		

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。

2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_s = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_i = \frac{m_3 - m_1}{V (1 + r_s / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_s / 100}$$

$$w' = \left(\frac{\rho'_i}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名

試験年月日 令和 8年 2月 3日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明

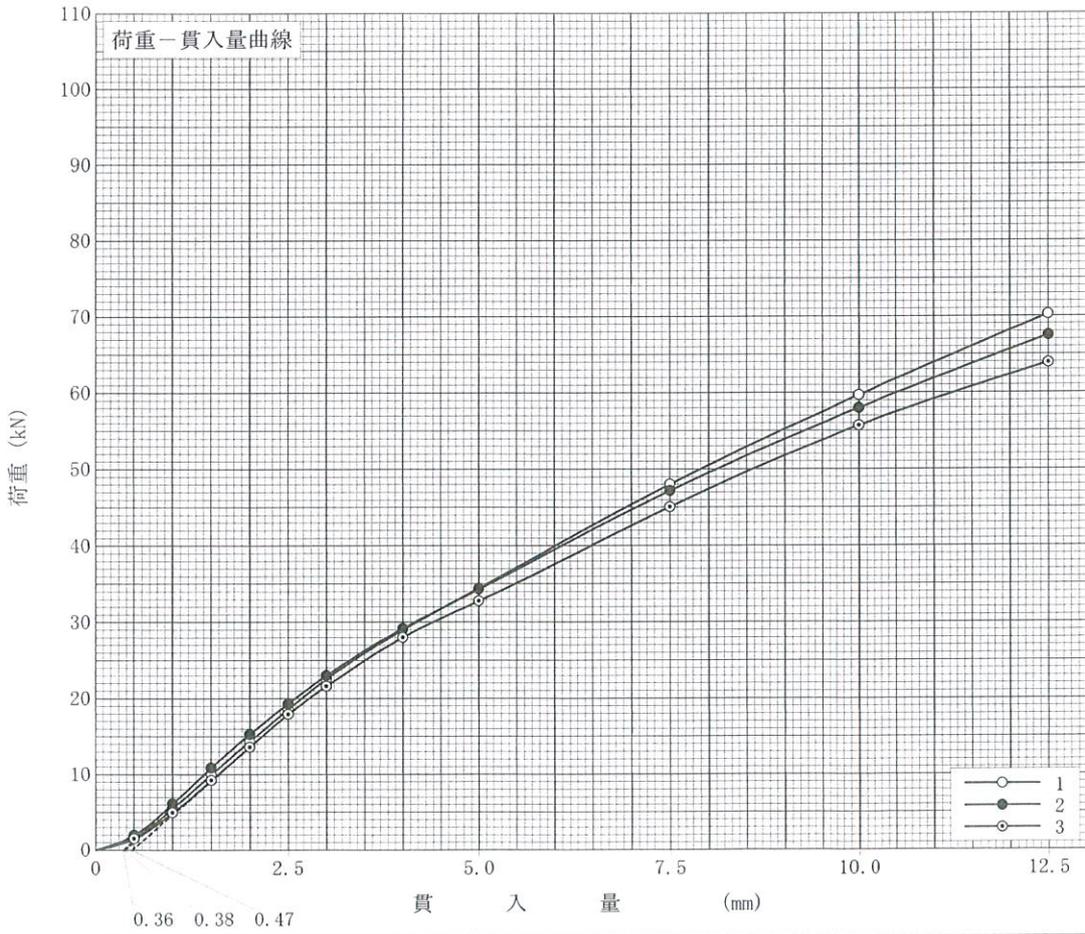


試験方法	締固めた土, 乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュラン
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	-
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	92	自然含水比 w_n %	-
試験条件	水浸, 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 w_{opt} %	11.3
養生条件	- 日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³
	4 日水浸		高さ ¹⁾	cm	12.5	

供試体 No.		1	2	3	
吸水膨張試験	前	含水比 w_1 %	11.3	11.3	11.3
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.905	1.898	1.888
	後	膨張比 r_e %	0.008	0.008	0.000
		平均含水比 w' %	12.0	12.1	12.1
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.905	1.898	1.888
貫入試験	試験後の含水比 w_2 %	11.7	11.6	11.8	
	貫入量2.5mmにおけるCBR%	161.3	164.1	159.5	
	貫入量5.0mmにおけるCBR%	183.5	181.6	175.8	
	C B R %	183.5	181.6	175.8	

平均 C B R %	180.3
------------	-------

特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No.1	21.616	36.507
供試体 No.2	21.993	36.146
供試体 No.3	21.376	34.978
標準荷重強さ MN/m ²	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

修正 C B R 試 験

調査件名

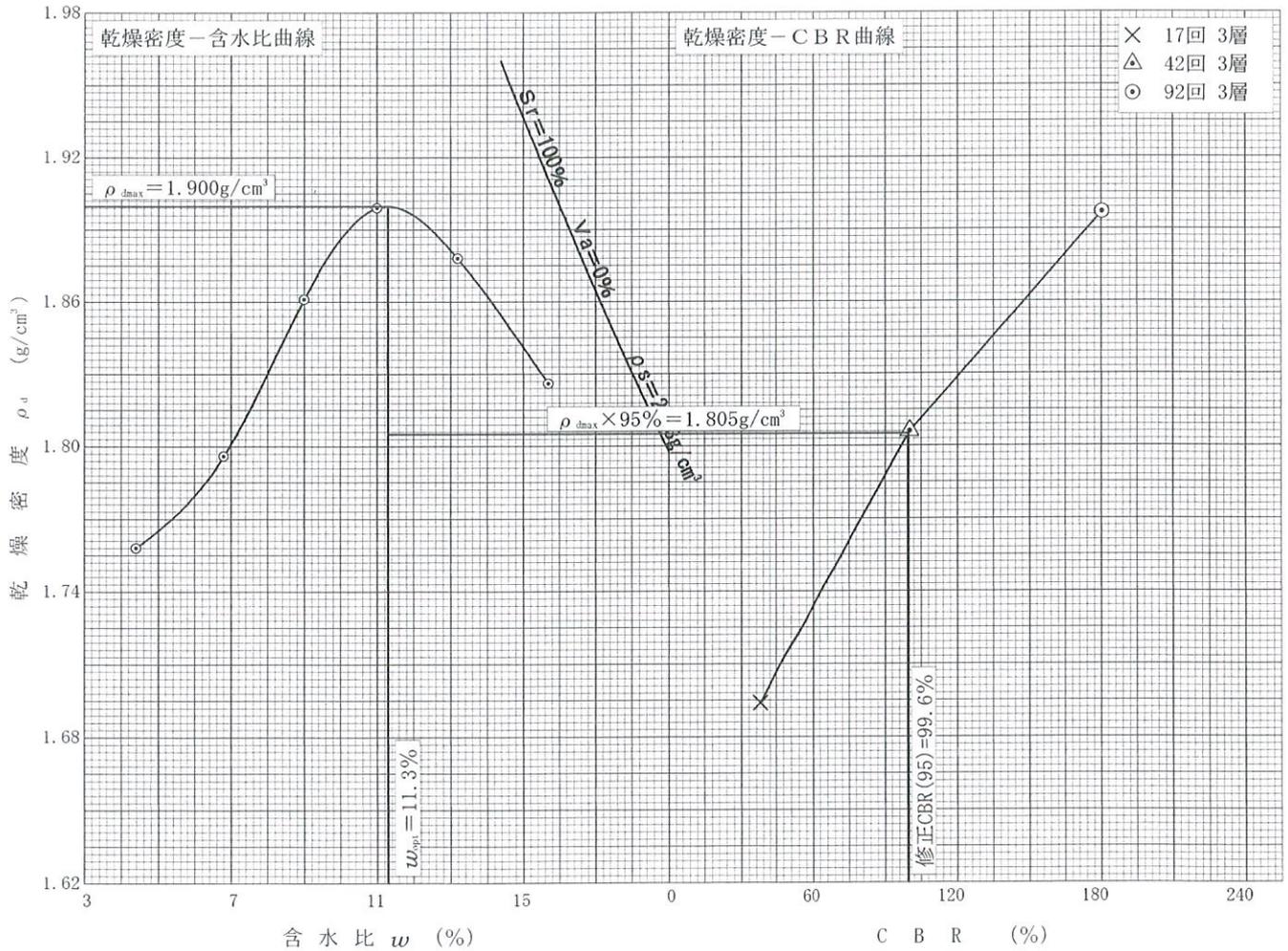
試験年月日 令和 8年 2月 6日

試料番号 (深さ) RC-40

試験者 田中 邦明



突 固 め 回 数	回/層	17 (3 層)			42 (3 層)			92 (3 層)		
供 試 体 No.		1	2	3	1	2	3	1	2	3
乾 燥 密 度 ρ_d g/cm ³		1.704	1.696	1.682	1.806	1.799	1.812	1.905	1.898	1.888
平 均 値 ρ_d g/cm ³		1.694			1.806			1.897		
貫入量2.5mmにおけるCBR %		33.0	32.2	29.2	85.7	87.1	89.5	161.3	164.1	159.5
平 均 値 %		31.5			87.4			161.6		
貫入量5.0mmにおけるCBR %		39.7	38.1	35.5	100.6	97.6	102.4	183.5	181.6	175.8
平 均 値 %		37.8			100.2			180.3		
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³			1.900			締 固 め 度 %		
		最適含水比 w_{opt} %			11.3			修 正 C B R %		
								95		
								99.6		



特記事項